

平成27年6月4日

徳島大学病院ホスピタルギャラリーbe 展示のご案内

徳島大学病院[病院長：安井 夏生（やすい なつお）]では、ホスピタルギャラリーbeにおいて、「クレイアートー動物たちの愉快的日常ー」を開催しています。

（報道概要）

1. タイトル：クレイアート 動物たちの愉快的日常
2. 期 間：平成27年6月1日(月)～平成27年9月26日(土)
3. 場 所：ホスピタルギャラリー「be(ビ・イ)」
(徳島大学病院西病棟1階ロビー)
4. 主 催：徳島大学病院
5. 協 力：武蔵野美術大学

※添付資料（ポスター）をご参照ください

丸める、のばす、こねる、引っ張る、つまむ、塗る、そして焼く。展示作品の草や落ち葉、土や流氷、そして愛くるしい動物たち。これらはすべて「粘土」で出来ています。「クレイ」とは英語の「clay」で「粘土」のこと。動物たちの目や鼻のような小さな部分も粘土を小さく刻み、貼りつけています。中には目を閉じてウトウトしている動物もいますよ。

粘土は扱いやすい材料ですが、細かい整形は難しいものです。動物たちのユーモラスな仕草は指先で形を作り、特殊な工具で整えます。

徳島を中心に創作活動が続ける「クレイマーズ」の動物たちが織りなす愉快的日常をお楽しみください。

このことにつきまして、報道下さいますようお願いいたします。

お問い合わせ先

部局名 徳島大学病院

責任者 病院長 安井 夏生

担当者 病院総務課広報・企画係（有賀）

電話番号 088-633-7463

メールアドレス bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

クレイアート 動物たちの愉快な日常

2015
6/1 [月] -
9/26 [土]

丸める、のばす、こねる、引っ張る、つまむ、塗る、そして焼く。展示作品の草や落ち葉、土や流水、そして愛くるしい動物たち。これらはすべて「粘土」で出来ています。「クレイ」とは英語の「clay」で「粘土」のこと。動物たちの目や鼻のような小さな部分も粘土を小さく刻み、貼りつけています。中には目を閉じてウトウトしている動物もいますよ。粘土は扱いやすい材料ですが、細かい成形は難しいものです。動物たちのユーモラスな仕草は指先で形を作り、特殊な工具で整えます。徳島を中心に創作活動続ける「クレイマーズ」の動物たちが織りなす愉快な日常をお楽しみください。

主催: 徳島大学病院
協力: 武蔵野美術大学基礎デザイン学科
監修: 武蔵野美術大学
基礎デザイン学科教授・板東孝明

第19回を迎える今回は、武蔵野美術大学の監修により、徳島で活躍する地元作家の作品展とさせていただきます。

Hospital
Gallery

be

ホスピタル ギャラリー [ビー]
徳島大学病院 西病棟 1階ロビー

